

1．事業の概要

里地里山は、奥山地域と都市地域との中間に位置し、多様な動植物の生息空間として、生物多様性保全上重要な役割を担っている。しかし、近年の過疎化等による管理放棄、都市近郊での土地利用転換などにより、里地里山の消失や質の低下が顕在化しているため、行政、住民、NPO、専門家等との連携による里地里山保全再生のモデル事業を計画・実施するもの。

（1）モデル事業地域の選定

全国の里地里山の生態系・地形・気候特性や、立地特性（都市に近いタイプ、中間タイプ、奥山に近いタイプ）を踏まえ、モデル事業地域4地域を選定した。（平成16年度）

（2）地域戦略の策定

地元自治体、住民、NPO、専門家、関係行政機関等と連携して、以下のような項目を内容とする里地里山保全再生の地域戦略を平成17年度に作成。

保全再生のための体制の確立（例：ワークショップ・協議会の設置等）

保全管理の実践、再生整備の実施（例：下草刈り、落ち葉かき等）

普及啓発・環境学習の実践（例：環境学習プログラムの実践等）

（3）モデル事業の実施

上記地域戦略に基づき、関係省庁を含む各主体が連携して事業実施。

2．事業計画

平成16・17年度 モデル地域において「地域戦略」を策定

平成18～20年度 モデル事業実施

3．施策の効果

本事業を通じ、里地里山の保全・再生に取り組むための実践的手法や体制、里地里山の普及啓発・環境学習のあり方について具体的な検討を進める。

さらに、里地里山保全再生のモデル事業を全国に発信することにより、全国各地の様々な主体による里地里山保全活動を促進する。

